

# 南区社協・福祉だより

心れあいネットワーク

[編集・発行]



社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会  
 広島市南区皆実町一丁目4-46 南区地域福祉センター内  
 TEL 251-0525・251-0505 FAX 256-0990  
 E-mail: minami@shakyohiroshima-city.or.jp

## 作業所自主製品展示コーナー

### リニューアル



### リニューアル後も盛況です



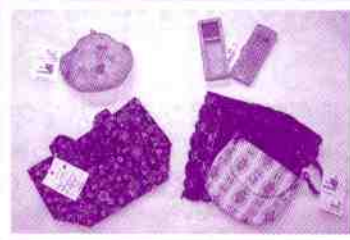
▲NPO法人 みらい 未来館



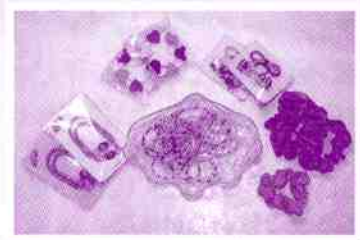
▲NPO法人 トムハウス



▲元気工房やる気まんまん



▲NPO法人 SOURIREふるーる



▲NPO法人 ミルキーハウス

南区社会福祉協議会事務局前に設置してある「作業所自主製品コーナー」のレイアウトが変わりました。1月から障害者就労支援団体「ふるーる」が加わり、南区内6ヶ所の作業所で作られた製品と紹介パネルを展示しています。展示スペースが広くなり、製品の数も増えています。メンバーさんの力作をご覧ください。

作業所名	所在地	電話番号	主な展示品
NPO法人 みらい未来館	南区翠4丁目3-12	251-5606	2012年カレンダー・エコたわし
NPO法人 トムハウス	南区東雲1丁目10-14	285-8303	ビーズ製品(ストラップ・眼鏡チェーン)エコたわしなど
NPO法人 みどり作業所	南区宇品西2丁目15-35	256-1090	パネル展示のみ
NPO法人みどり 元気工房やる気まんまん	南区宇品神田5丁目5-3	252-5648	竹製品・陶器 など
NPO法人 ミルキーハウス	南区翠3丁目10-10	254-4870	万華鏡・アームバンド・エコたわし・シュシュ・カードケース・ポプリ など
NPO法人 SOURIREふるーる	南区仁保新町1丁目3-1 田口ビル102号	288-7936	服飾品縫製(ポーチ・古着物のれん他)ビーズ製品(ストラップ他)木製品(くるま印かん皿)

### 作業所って何?

作業所は、障がいの程度により一般企業で就労することが困難な在宅心身障がい者や、地域における在宅精神障がい者の社会復帰を進めていくため、皆が共同して作業をすることができる場を設け、作業を通して技能訓練や生活指導などを行っています。

## 段原地区 支え合い、助け合って10周年!!

平成24年1月18日(水)に段原西集会所において、段原地区社協の「ボランティアだんばら」10周年記念コンサートが開催されました。

当日は、活動されているボランティアさんや段原地区で取り組まれているサロンの人たちなど約60名が参加されました。段原地区社協 妻木会長の「助け合い、励まし合う暖かい心が10年間、取り組みを続けていく原動力になったと思う。皆さんに感謝したい」という挨拶でスタートし、続いて“上西しんじ&ラティーノス”コンサートによる演奏を聴くなどして楽しいひと時を過ごしました。また、ボランティアだんばら代表の小川さんは、「皆さんが得意としていることを活かしてもらいながら、互いに支え合い、励ましあい10年間取り組みを続けることができました。これからも皆で知恵を出し合いながら取り組みを続けていきたい」とおっしゃっています。また、毎週水曜日開催のいきいきサロン「陽だまり」では、バス旅行や季節の行事が皆さんに好評です。生活のリズムを作り、生きがいを感じる、これらの援助活動については、これからもサロンの皆さんと一緒に頑張って続けていきたいとの展望も持たれています。

助け合い、励まし合いの源となる暖かい心を感じることができる10周年記念コンサートでした。



上西しんじ&ラティーノスの楽しいコンサート



美味しいお汁粉もいただきました

## 楠那学区 いざという時に備えて!車いす体験

### 体験・発見・ほっとけん!!

2月22日(水)、楠那公民館とその周辺で、楠那学区ボランティアバンクによる「車椅子」体験が行われました。公民館内で、車いすの基本的な動かし方などについて学んだ後、公民館から南区スポーツセンターを出て、楠那小学校北側を西へ、そして北へ(旧道)を通り公民館へ帰るコースで、6グループ(2人で1台)に分かれて車いすに乗る役、介助する役で体験しました。

### 参加者の感想

- ◆車いすの体験日和りで参加者にとっては、今回の体験を通じて自分たちの「まち」を見つめなおす一つのきっかけになった。
- ◆もっと地域住民に対するPRと、バンクの登録者に対して年数回の集まる機会を開く必要がある。
- ◆当面活動がない場合でも、ふれあいいきいきサロン事業などの活動に参加いただくなどの具体的な働きかけがあれば、今後の活動につながってくるのではないかと。

乗り心地や操作性についての使用感を体験中に何度か聞くことができたことや、車いす体験を通し、車いすは身近なものであり、自然に乗ってもらいたいし、介助ができるようになってもらいたいと思いました。(参加者25名)



はじめて車いすに乗られる人もいました



車いすの基本的な動かし方などを説明しました

## みなさんのサロンを応援します「卯月」

うさぎ年の4月に誕生したことから「卯月」と命名、今年の4月にグループ結成1周年を迎えます。

12年前の、南区地域福祉センターの開所にあわせ、ボランティアセンターも開所。その後は、センターの利用メンバーが自らボランティアセンターを四季折々の飾りつけ、来所される皆さんを和ませてきました。その延長に立ち上がったグループが「卯月」です。

活動は、今までのボランティアセンターやボランティアフェスティバルの飾り製作のほか、地域のいきいきサロンの支援や子育てサロンの支援にと、幅広い活動に発展しました。

この一年間、いきいきサロンの参加者に喜んで製作していただける小物の試作や、依頼があれば、材料を準備したり、また、初めてサロンに出かけて行って指導する機会をいただき、地域の方との交流をしました。

子育てでは、南区別館の玄関で子ども達を迎えてくれるマスコット2体(うさぎ、犬)を、サロンに寄贈しました。

これからも、折り紙や小物作りのレシピを整え、地域サロンとの交流や支援ができればと考えています。

毎月第2、4水曜日に地域福祉センターで活動しています。



活動中の卯月のみなさん



かわいいマスコットを寄贈しました

## 誕生しました「うさぎの会」

平成23年度、2つ目の新しいグループとして、「うさぎの会」は誕生しました。

ここ数年、地域の方から話し相手ボランティアを求める声が多く寄せられていますが、これまでは既存のボランティアグループが、話し相手ボランティアとしてその役を担ってきました。

今年は話し相手を求める要望に応え、話し相手ボランティアとして活動できる方の養成やきっかけになるよう、「話し相手ボランティア講座 聞き上手になろう」を開催したところ、定員を上回る申込みがありました。

参加の動機としては、自分の勉強のためや自分の親ともっと上手に話せるようになりたいなど、日常生活に生かしたいとの思いで参加された方が多かったように思います。

2回にわたる講師からの指導を受け、はじめての施設での体験は、コミュニケーションの難しさを感じながらも傾聴の大切を多くの方が感じたと話されました。

参加者同士の実習と施設での体験で、参加者同士のコミュニケーションが深まり、最終回の交流会では、「何らかの形で活動を続けていきたい」とのお気持ちの方も、「もっと勉強を積んでから活動したい」という方もおられましたが、「やりながらの方が疑問も湧き、実践もしやすい事や、一步を踏み出そうとした今、はじめる方がよいのでは」との前向きな意見があり、月1回の定例の話し合いを持つところからスタートして、平成24年1月に、話し相手ボランティアグループ「うさぎの会」として発足しました。

現在は、デイサービスでの話し相手ボランティアとして、毎週1回活動をしています。個別の活動も視野に入れ、定例会では活動の振り返りを行うと共に、会員同志の実習で技術の向上を目指しています。



## ひとびとじゃない! 防災研修

2月21日に南区地域福祉センターにて、南消防署の宮永 正稔 警防課長補佐を講師に招き、「広島市の防災対策」をテーマに研修会を開催しました。50名を超える方にご参加いただきました。講義では、もし、南区で大災害が生じた場合にどうすればよいのか、また、もしもの時に備えて何を準備すればよいのかなど、東日本大震災の経験を踏まえ、分かりやすく説明してもらいました。講義の初めには宮永さんから、非常食である「乾パン」が参加者全員に配られ、「今回は乾パンを食べながら、リラックスして聞いてほしい」と、ざっくばらんな雰囲気で行われました。

今回講師からは、災害に直面した時に備えて、「まずは自分の命を守ること」を考えておいてほしいとの思いが参加者へ投げかけられ、「自分の命があって、初めて他人を助けることができる」ということを考えをさせられた内容でした。

また、東日本大震災の衝撃的な映像も上映され、参加者は当時報道された悲惨な状況を思い出され、改めて災害の恐ろしさを実感されているようでした。最後に、宮永さんが「災害は忘れたころにやって来る」という言葉で、日頃から防災への意識を持ってもらいたいと参加者に呼び掛けられ、研修は終了しました。



▲東日本大震災を振り返って…



▲多くの方に出席いただきました

## ミルクィーハウス ~アットホームなみんなの居場所~

ミルクィーハウスは、平成10年に地域の精神に障がいのある人の「昼間、働いたり、余暇活動をしたり、生活訓練をする場所」として生まれ、今年度で14年目を迎えました。

仕事をするだけでなく、様々な余暇活動やスポーツなどを通し、メンバー皆が地域で生活していくのに必要な力を身につけることを目標にしています。

ミルクィーハウスをもっと知ってもらうため、メンバーの皆さんにインタビューをしました。

### ☆ミルクィーハウスはどんな場所ですか？

メンバー皆がのびのびと明るい、アットホームな場所です。

### ☆ミルクィーハウスのセールスポイントは何でしょうか？

自主製作品などを販売するショップを設置していることです。ショップでの販売で接客などの技術を学んだり、人間関係の築き方などを学べる点ではないかと思います。

### ☆おすすめの自主製作品は何でしょうか？

天然石をつかったプレスレットなどのアクセサリです。

### ☆皆さんに知ってもらいたいことは何でしょうか？

メンバーそれぞれに個性があり、ミルクィーハウスに通う目的もそれぞれです。社会復帰というと「就労」と思われがちですが、必ずしもそれだけではないかと思います。

それぞれ、目標をもち、成功体験を積み重ねながら頑張っているということを知って欲しいです。

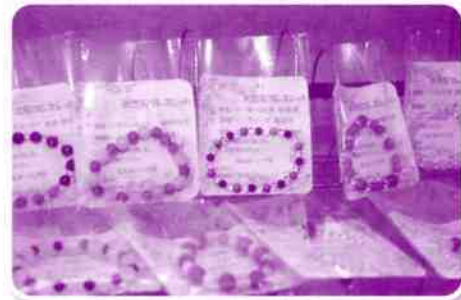
### ☆これからのミルクィーハウスの目標は何でしょうか？

地域の皆さんにもっともっとミルクィーハウスのことを知っていただき、来ていただきたいと思っています。

また、メンバーが豊かな生活を送れるよう生活支援にも力を入れていきたいと思っています。



▲いらっしゃいませ、ミルクィーハウスへようこそ



▲おすすめの天然石のプレスレット



▲一歩入ると自主製作品がズラリと並んでいます



住所／広島市南区翠三丁目10-10  
電話／(082)254-4870(FAX兼)

# ぶらり、ふれあいサロン

現在、南区には83のふれあいきいきサロンがあり、地域のふれあいの場づくりを進めています。そんな区内の様々なサロンの取り組みの様子を紹介していきたいと思います。

翠町地区社協

## 「ふれあいの会 みどり」

「ふれあいの会 みどり」は、平成17年に発足し、今年度で7年目を迎えています。

元々は翠町地区社協で取り組まれていた「ふれあい会食」が「いきいきサロン」へと形を変え、続いていることもあってか「食べること」を大事にされており、みんなと一緒に何かを食べることを欠かさないようにしています。取材当日は、皆さんで健康によいよもぎをうどん粉の中に練り込んだカレーうどんを作ることになっており、大変、美味しいカレーうどんをごちそういただきました。食べるだけではなく、皆さんで小物づくりをされたり、おしゃべりをしたりして、大変、豊かな時間となっています。

また、当日は昨年12月で南区社協が主催した「ふれあいきいきサロン研修会」後、はじめてのサロンであったこともあり、研修会に参加された山崎さんがレクリエーションを進めてくださり、研修会の様子を皆さんに伝えてくれました。「『いきいきサロン』を続けていく中でご近所の皆さんのつながりが深くなった」と皆さん言われていました。

また、本当に豊かで楽しい時間となっておられるようで「これからも長く続けていきたい」、「誰でも歓迎するので、気軽に参加してください」と皆さんが言われていたのが、大変印象的でした。



◀うどん作りも皆で



皆で楽しくレクリエーション▼



開催日時：毎月第二火曜日  
10：00～12：00  
会場：翠町東集会所  
(広島市南区翠3-4-1)

## ～33年の歴史に幕～ 一人暮らし老人の集い「おたっしゃ会」が終了しました。

高齢者の孤立化が社会問題化していた昭和55年度、南区社協では、一人暮らし高齢者の社会参加と仲間づくりを目的として、「おたっしゃ会」を発足させました。

130名ほどの会員登録から始まり、区役所講堂で開催する集いに、40名程度の方が参加されていた時期もありました。その頃は、より自主的な運営をめざして会員にも役割が振られ、受付や企画、広報の作成や発送にも携わってもらいました。また、支援してくれるボランティアさんたちも「ともしび会」というグループを結成されて、組織的に「おたっしゃ会」の運営を援助してくださいました。

しかし、その後の高齢化の急速な進展に伴い、「ふれあいきいきサロン」など高齢者の社会参加の場がより小地域に作られるようになったことで、南区全体を対象域とする「おたっしゃ会」は、一定の社会的役割を終えたものと考え、本年度末を持って解散することとなりました。

多くの方の楽しい思い出と、ボランティアさんへの感謝と共に、3月1日の総会をもって、穏やかな幕引きとなりました。



お花見ではみんなでお弁当を囲みました

## 南区社協では賛助会員の募集がスタート! 50口の方々が加入中! (3月1日現在)

南区社会福祉協議会では、誰もがいきいきと安心して暮らせる「福祉のまちづくり」に取り組んでいます。いただいたお金は、地域で取り組まれている「ふれあいいきいきサロン」事業の財源等にいたしますので、地域への還元になります。南区の福祉をますます充実させていくためにも、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

### ■賛助会員(個人・団体)

- ◎1口 1,000円
- ◎何口でもご加入いただけます。
- ◎ご加入については下記までお問い合わせ下さい。

### ■お問い合わせ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会  
〒734-8523 広島市南区皆実町1-4-46  
TEL.082-251-0525  
FAX.082-256-0990

## 南区社協では、つぎのような浄財をお受けいたしております。

- 誕生日・結婚・快気・創業祝い・香典などの慶弔返戻金
- 町内会・職場・会社での各種募金
- チャリティーバザーの収益金など

社会福祉法人にご寄付いただいた場合は、寄付金控除の対象となります。お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のために活用させていただきます。

### 「主な自主財源の事業」

- 地域福祉活動推進事業
  - ・地区(学区)社協活動の援助
- ボランティア活動推進事業
  - ・ボランティアセンターの運営
- 福祉事業
  - ・老人福祉事業
  - ・児童福祉事業
  - ・障害児(者)福祉事業
- 広報事業

### ●お申し込み・お問い合わせ

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会  
☎(082)251-0525

## 愛の灯火

皆さまからお預かりしたご寄付は、南区の地域福祉の推進のために有効に活用させていただきます。

寄附受付期間 **10月25日～3月7日**

### ●寄付金

澤安 不動寺 様(丹那新町)  
中山 幾恵 様(丹那町)  
松田 瑠美子 様(皆実町)  
戸井 澄子 様(上東雲町)

### ●寄付物品

(株)平和運送 様(出島)  
フジ工業(株) 様(仁保)  
仁保小学校・仁保中学校 様  
ホープ薬局 様(宇品神田)  
岡田 憲明・平川 加恵子 様(東本浦・北大河)  
皆実町中通り商店会 様  
6丁目ひまわりサロン 様(皆実町)  
野菊の会 様  
元宇品町内会 様  
森下 敏子 様(宇品御幸)  
北野 太則 様(宇品東)  
河野 洋文 様(黄金山町)  
川島 好晴 様(仁保)  
元村 操・松延 壽恵子 様(丹那ハイツ)  
(有)丸忠工業 様(西本浦)  
甲藤 義弘 様(山城町)



## ご協力ありがとうございました。

**23年度  
実績額**  
(単位:円)

個別募金	6,928,680
街頭募金	126,653
法人募金	1,441,513
職域募金	429,278
その他	153,408
計	9,079,532
達成率	59.7%

(平成24年2月24日現在)

**9,079,532円**でした。



▲今年の広島駅前街頭募金も荒神小学校の生徒の皆さんと役員さんで行われました。

この広報紙は  
共同募金の財源により作成いたしました。

